

# 県連ニュース

2022年4月 NO.537号



矢橋より武奈ヶ岳を望む

## 滋賀県勤労者山岳連盟

## 2022年 4月号 目次

巻頭言 チャレンジ精神でこの一年を…………… 1

### 案内・募集・お知らせ

緊急アピール・積雪期登山事故防止の取り組みについて 2

定期総会報告・・・県連・事務局…………… 4

初級登山教室スケジュール…………… 6

入門登山教室…………… 7

公開山行案内・・・比良雪稜会…………… 8

### 報告

安全登山の為に講習会報告と事務局連絡…………… 9

雪崩事故防止講習…………… 10

アイスクライミング講習報告…………… 11

ぐうたら会長のつぶやき…………… 13

4—6月 行事予定表…………… 14

表紙の写真：『 矢橋より武奈ヶ岳を望む2022年1月8日』

撮影者：滋賀山友会 川口辛三

<巻頭言>

## チャレンジ精神で この一年を

理事長・宮内 眞子

会員の皆さま、今年こそという気持ちで滋賀労山発展のために一人一人のご協力をお願いしたいと思っています。

第46回定期総会(3月6日大津市ふれあいプラザ)で、活動報告・会計決算・活動計画案・会計予算案が承認されました。3年目にして初めて総会を終えたという実感がしています。

2019年3月の総会は、コロナが流行し始めた時期でした。総会会場が閉鎖になり急遽、杉浦町の旧事務所で代表者会議を総会代わりにして、代議委員の委任状提出でもって承認をいただき2020年度がスタートしました。コロナ禍の影響を受け、各会の山行自粛も経験して、会員拡大の一般公募山行が難しい状態になりました。理事会等もZOOM併用、メール会議に切り替えて何とか乗り切りました。2021年3月の総会も代議員20名中13名出席、ZOOMによる出席7名で総会は成立。議案も承認いただき2021年度がスタートしました。やはりコロナ禍の影響は続き、何かと制限の多い活動になったことは残念でした。そして今年3年目にして、代議委員20名中18名の出席、委任状2名で案件すべて承認をいただき、総会を終えることが出来ました。これからが正念場です。

コロナとうまく付き合いながらの活動になりますが、恐れず挑戦していきたいと思っています。

2021年11月と2022年2月の代表者会議でも活発な意見をいただき、理事会との連携も確認できました。滋賀労山は、傘下6会、164名(2021年11月末全国連盟に報告会員数)と近畿ブロックの中でも一番会員数の少ない労山です。

滋賀労山を一つの会と考えて何かできないか模索して、2020年から交流月間をスタートさせました。会員の交流を図る目的で始めた企画です。所属会の例会山行だけでは山行が少ないと感じておられる会員さんもいらっしゃると思います。他会の山行にも参加できる通年企画として「交流山行」を継続していきます。

今年度の「清掃登山」は全国植樹祭の関係で、5月29日(日)としましたが、一日に限らず、清掃登山日を増やすことも可能です。

県連の主要行事「清掃登山」「登山祭典」「交流山行」は、一般参加を呼び掛けて、会員拡大、滋賀労山入会のきっかけにしたいと強く思っています。

また入会のメリットとして、今年度は会員向けに「2022年度初級登山教室」を開講します。そして初めての試みとして、一般募集する「座学・入門登山教室」も開講します。この「座学・入門登山教室」は、3/12発行の滋賀リビング新聞社に広告を掲載しました。今月号でも紹介しています。安全に自信をもって歩けるようになるための基礎を学ぶ座学教室です。新入会員さんはフォローとして活用してください。これからリーダーとして活動される方の参考にもなると思います。

新しい仲間を増やして、一緒に「いつまでも現役で登山を楽しめる」会員でいたいと思います。

全国連盟から

## 「積雪期登山事故防止の取り組みについて、緊急アピール!」

日本勤労者山岳連盟 遭難対策部

**当たり前のことだが、山で死んではならない。しかし、2022年に入った1月・2月のわずか2か月間で、4名の死亡事故が発生した。**

今年1月から積雪期登山の事故が多発している中、死亡事故が4件(4名)発生した。前年(2021年)は年間で4名の死亡者数であったが、今年は2月末ですでに4名となり、重大事故が増加すると懸念される。

1月中旬、八ヶ岳連峰天狗岳で道迷いにより70代の女性、1月下旬、南アルプスの荒川出合2ルンゼをアイスクライミング後の下山中滑落で20代の男性、2月上旬、大山で北壁登攀後に8合目付近で行動不能の50代の男性が、山岳救助隊に心肺停止で発見・搬出され、その後死亡が確認された。さらに2月下旬、宮崎県の鉾岳で60代の男性が心筋梗塞による死亡との事故一報が入った。

それぞれの事例では

- ・積雪期登山の体力と判断力不足
- ・行動予定と行動時間のずれ
- ・悪天予報に対応していない行動
- ・天候悪化による道迷い
- ・ピバーク用装備の不携帯
- ・積雪期登山の技術不足
- ・日頃からの体調管理を怠っている

上記の要因が重なり事故が発生していると考えられる

コロナ禍における心理的・物理的制約から登山日数が減少し、筋力・体力も知らず知らずのうちに低下している。さらに加齢による基礎体力の衰えも考え合わせ、体調管理には特に留意していただきたい。また山行に際しては、コロナ対応で医療体制が厳しい中、遭難事故を起こさないために、より慎重な計画と判断を心がけて欲しい。

積雪期については

- ・不測の事態に対応できる装備の確認
- ・直近のルート状況をできる限り把握する。
- ・最新の天気予報を確認し、天候の変化を的確に判断する。
- ・パーティ各自の体力や技術を十分に認識する。
- ・特に今年は積雪が多い地域状況を考慮し、悪天の予報時は登山中止を検討する。
- ・ネットでの情報を安易に受けない(情報量が多いと自分に都合の良い情報を取り入れる)

以上の点を十分に考えて登山を行ってほしい・

☆低体温症が要因とする事故については、本人が気づかずに血の巡りが悪くなり、正常な判断ができなくなるので、強風にさらされる、濡れる、行動が止まるなど、身体を冷やされることが予想される場合は、そのような状況になる前に対策を講じる。

☆時間に余裕のある計画を立てた上で、計画より遅れた場合は引き返す行動も心掛ける。

日時 2022年3月6日(日) 午後1時30分～午後3時30分

会場 大津市ふれあいプラザ 5F 大会議室

### 議事録

- ・宮内眞子理事長より本日の司会として山元豊理事を指名された。
- ・開会宣言：山元理事が開会を宣言 引続き議長決定まで進行
- ・会長挨拶：友永芳和会長が出席者に対して挨拶
- ・来賓挨拶（久保典子全国連盟副理事長）：・全国大会は時節柄 ZOOM 参加も認め、活発な議論のち多数で全て承認された。・今日は地方連盟会員の生の声を聴きたいと思っている。・全体として会員の減少傾向は続いているが、会員が増加した連盟もあり、それらの地方連盟に対してどう対応したのかアンケートを取りまとめた。ホームページで見られるので参考にしてほしい。
- ・祝電紹介：近畿ブロックから多くの祝電をもらった。京都府連を紹介（クリーンハイクを全国に先駆けて実施したのは素晴らしい、救助訓練など教育に力を合わせてやっていきたい。）
- ・議長、選挙管理委員、資格審査委員の選任：立候補者はなく事務局案で、承認された。  
議長；藤野健太郎（雪稜）、資格審査委員；達磨豊弘（岳友）、選挙管理委員；上澤健一（山友）

### 第1号、第2号、第3号議案について

議案書説明：宮内理事長より、あらかじめ議案書は配信され読まれていることを前提に、総括報告4項の主要行事について重点的に説明。また、財政について田中理事より例年と大きく変更した費目、収支が大きく異なる費目、繰越金の次年度での活用方法等について説明

### 質疑応答

Q：柴田（ちごゆり）；22年度計画で支出を抑え健全財政に心がけるといいながら、21年度繰越金を各会に返還するのは矛盾していないか？

A：田中理事：繰越金が増えたのは・コロナの影響で活動が縮小したこと、・事務所を引き払い家賃が大幅に減少したことなど‘21年度だけの現象で、これは県連が実施機関ではないので、戻すことにしたが、通常年度は健全財政を目指すということである。

Q：西村（雪稜）；雪山基礎講座の収支がぴったり一致するのはおかしい！

A：理事長：年間70,000をまとめて渡し、運営を任せている

Q：西村(雪稜)非常に良い講座とっており、続けてほしい。担当者・秋田氏が自腹を切るようなことがあっていけない。

A：理事長：確認します。

要望：柴田（ちごゆり）；交流山行企画は良かった。是非来年も続けてほしい。

要望：信森(彷徨)自然保護関連の嘆願書の署名活動は続けてほしい。

意見：谷内（報告）；各会個々には出来ないような登山技術の系統的習得を狙った‘22年度登山教室を実施する。よろしく願いいたします。

要望：西村（雪稜）：代表者会議で、クリーンハイクへの参加費について、会員は無料となったことをはっきり記述してほしい

A：理事長：了解した、総会の議事録に記述する。

なお、今年のクリーンハイクは「全国植樹祭(6/5 滋賀県開催)を避けて、県連は5/29(日)に実施します。

要望：上澤(山友)昨年あるスキーネットの例会で、昼休み(12:00頃)CLがビールを飲み下山後(16:00)車を運転していた。それも参加会員6名乗っていた。CLとしての資格を問

いたい。

A：会長；県連としては強制できないが、各会は“山行中は禁酒”と決めてほしい

議長：この問題は重要である。今後の理事会でよく話し合い対応を決めてほしい。

資格審査（14：30）

達磨（岳友会）資格審査委員：代議員 20 名、出席 18 名、委任状 2 名で“総会が成立していることを確認した”と報告

議案の評決：第 1、第 2、第 3 号議案はまとめて賛成の方の拍手多数をもって可決された。

第 4 号議案

選挙管理委員より役員立候補はなく事務局案の提示が求められた。

賛成多数で事務局案の「2022 年度理事候補」は承認された。

以上で議案すべての審議が終わり議長退席

理事紹介：宮内新理事長より 2022 年度理事が紹介された。

今期で退任する理事がそれぞれ挨拶した



<募集>

## 2022年度初級登山教室スケジュール表(予定)

4月 6日 (水)	座学	・オリエンテーション・登山の基礎知識 初級登山教室に必要な装備等
4月13日 (水)	座学	クライミング入門 ロープワークの基礎
4月16日 (土)	実技	地図読み山行 比良・滝山
4月23日 (土)	実技	クライミング体験 京都大原金毘羅ゲレンデ
5月11日 (水)	座学	テント泊・読図 登山計画書の作成
5月14日 (土)	実技	クライミング入門Ⅰ 北小松しし岩
5月21日 (土)	実技	テント泊・読図 比良山縦走 八雲ヶ原テント泊
22日 (日)	実技	比良山縦走
6月 8日 (水)	座学	レスキュー入門
6月25日 (土)	実技	ツェルト設営 搬送 危険箇所通過等
7月13日 (水)	座学	沢登り入門 装備、遡行図等
7月23日 (土)	実技	比良または鈴鹿の沢登り
8月24日 (水)	座学	クライミング入門Ⅱ システム、ロープワーク
9月10日 (土)	実技	クライミング入門Ⅱ 金毘羅ゲレンデ
9月21日 (水)	座学	読図 バリエーションルート
10月1日 (土)	実技	バリエーションルート 読図 比良または鈴鹿
10月15日 (土)	実技	クライミング基礎 しし岩
11月30日 (水)	座学	雪山ハイキング入門 装備、気象、雪崩等
2023年		
1月14日 (土)	実技	マキノ高原または比良山

※以上の日程および内容は講師・参加者の都合や天候その他の事情により変更することがあります。

県連ニュース3月号に「2022年度初級実施要項」を掲載しています。

申し込みが未だの方は、日程表と合わせてご検討ください。

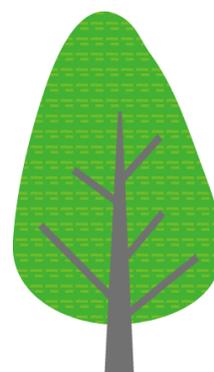
★すべての座学会場・開始時間と曜日は確定しています。

明日都浜大津 市民活動センター 1F会議室 午後7時～9時

受講者は、駐車場1時間30分 無料 その後 30分毎150円必要 です

座学

2022



# 入門登山教室

～自分自身の力で山を歩ける登山者になりませんか？～

山を歩くと、そこには普段の生活で会うことのない素晴らしい世界が広がっています。でも同時に、山には道迷いやケガ、天候の急変など、様々な思いがけない危険も潜んでいます。そうしたリスクを理解し、安全に自信を持って山を歩けるようになるための座学入門教室です。カリキュラム前期では山歩きに不可欠な基礎知識を、後期では色々な山域を1人で歩くための実戦的な知識を、講師自身の経験も交えながらお伝えします。ソロでもパーティでも、自分自身で考え、適切な行動ができる、自立した登山者への一步を踏み出しませんか？

- 会場 大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F 大会議室
- 時間 19:00～21:00
- 受講料 1回 1,000円 ※滋賀労山会員は無料
- 定員 20名(定員になり次第締め切ります。特定回のみ受講も可)
- 講師 信森 徹(彷徨倶楽部) 友永 芳和(滋賀労山会長)



	第1回 4/12(火)	第2回 5/17(火)	第3回 6/14(火)	第4回 7/12(火)
前期	登山の魅力 登山の心構え 登山のリスク	トラブルの予防(ウエア、装備、パッキング、歩き方)	リスクの予測(山行計画、山の天気、読図-導入編)	リスクの予測(読図-本編)
後期	第5回 9/13(火)	第6回 10/4(火)	予備日 11/8(火)	第7回 11/30(水)
	緊急時の対応(道迷い、病気、ケガ、動植物、荒天)	岩場の基本知識 テント生活術	(補講)	雪山の基本知識

※日程は変更になることがあります

【申込み・問合せ】教育遭対部

shigarosan@gmail.com 070-9002-3325 宮内



【主催】滋賀県勤労者山岳連盟 <https://shigarousan.jimdofree.com/>

<案内>

滋賀労山会員の皆様へ

### 比良雪稜会恒例 春の公開山行に参加されませんか？

(本来は野点山行なのですが、コロナ禍により 野点なし の公開山行としています)

ひがしがたにやま  
湖北 東ヶ谷山(657.5m)～山門水源の森

… びわ湖眺望とブナ新緑や花など 春を満喫しませんか！ …

日 程： 2022年 4月 29日(金・祝) 雨天中止

コース： 往路：堅田駅=(貸切バス)=小野駅=和邇駅=西浅井町 山門水源の森入口(又は  
R161の東ヶ谷山登山口)下車

登山コースは下記①・②のどちらか予定 雪解け後下見の上 決めます

① 山門水源の森入口から森を経由し、東ヶ谷山を折り返して山門水  
源の森を周回する

② R161側から東ヶ谷山を登り、山門水源の森を回って入口へ

帰路は(貸切バスで)往路を戻り、和邇駅・小野駅・堅田駅へ(17:30頃帰着予定)

歩行 4～5時間

集 合： JR 堅田駅 7:30 小野駅 7:40 和邇駅 7:45 のいずれか

交 通： 大型観光バス

持 物： 弁当・飲物・雨具・ライト等の日帰り装備

参加費： 比良雪稜会以外の労山会員及び一般の方：3500円(バス代等)

定 員： 40名 (定員になり次第締切)

主 催： 比良雪稜会

担当&申込先：西村高行 携帯：090-8932-2460 fax 077-594-0454

eメール：[kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp](mailto:kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp)

※山行中以外はマスク着用、バス乗車時は手指消毒・検温をお願いします。

※集合兼バス乗車について、希望があれば JR 近江今津駅も可です。

※一般参加者には1日傷害保険を付保します。

比良雪稜会が毎年 春と秋に行っている“公開野点山行”です。  
この3年程は新型コロナ感染防止のため、残念ながら野点はしておりませんが。  
皆さんにもぜひ参加いただきたくご案内させていただきます。  
交流が出来、賑やかで楽しい山行になればと思っております。  
ご連絡をお待ちしております。

日 程:2022年2月26日(土) 快晴

講 師:秋田 誠(彷徨倶楽部)

受講生:塚本 正弘(滋賀山友会)、其阿弥 道子(比良雪稜会)、木村 敦子(比良雪稜会)

中央アルプス・南木曾岳で予定していた雪崩事故防止講習が悪天のため中止となったので、比良・蓬莱山で代替の講習を日帰りで実施した。12～3月の間蓬莱山ではびわ湖バレースキー場が営業しており、ゴンドラを使って15分足らずで標高1,000mの雪の稜線に立つことが出来る。県内各地からゴンドラ山麓駅までのアクセスは非常に良く、有料駐車場も完備しているので日帰りで雪山訓練を行うには適した場所だと思う。今回は蓬莱山頂上南側の琵琶湖を眼下に望む斜面で講習を行った。予め通知した講座の日程にない代替プランだったこともあり、参加者3名と少々寂しい講習となったが、受講生が少ない分中味の濃い講習となった。

〔講習の内容〕

1. 雪崩の基礎知識 雪崩の分類、最も警戒すべきは面発生表層雪崩であること、見通し角について学んだ。
2. 面発生表層雪崩発生のメカニズム  
殆どの場合、積雪層に形成された僅か数cm未満の弱層が破壊されることが誘因。弱層を形成する5種類の雪(霜ざらめ雪、表面霜、雲粒なしの新雪、あられ、濡れざらめ)と弱層形成の過程を学んだ。
3. 積雪層の断面観察 斜面にピットを掘り、積雪が幾つもの層で形成されていることを観察した。
4. 弱層テスト 欧米で普及しているシャベルずりテスト(shovel shear test)を実習した。弱層テストの結果は雪崩のリスクを評価する情報のひとつにすぎず雪崩リスクの低減には、天候、地形、植生など他の情報も総合した判断が重要である。特に、これから登ろうとする山域での過去の雪崩事故に関する情報は極めて重要である。
5. 雪崩危険個所の通過 雪面を登下降する際のルートを取り方など雪崩のリスク低減のための注意点を学んだ。
6. ビーコン操作 デジタルビーコンの操作法、電波特性と使用上の留意点を学んだ。
7. セルフレスキュー 山行中にパーティーのひとりが雪崩に巻き込まれたという想定で、雪崩発生から救出までのセルフレスキューの流れを実習し、ヘリ救助要請の際の留意点を学んだ
8. プローブによる捜索 プローブによる捜索法を体験した。
9. ヒトコ親機による捜索 雪に埋めた子機を親機で探しだす実習を行った。



シャベルずりテスト

今回の講習で特に力を入れたのは、セルフレスキューである。傾斜25度程度の斜面に幅30m、長さ50mの区画を設定して、パーティーの1名が雪崩に巻き込まれて埋没した想定で、雪崩の発生から遭難者の消失点確認、捜索範囲の設定、ビーコン捜索、埋没者救出に至る一連の作業を、役割を交代して反復練習した。

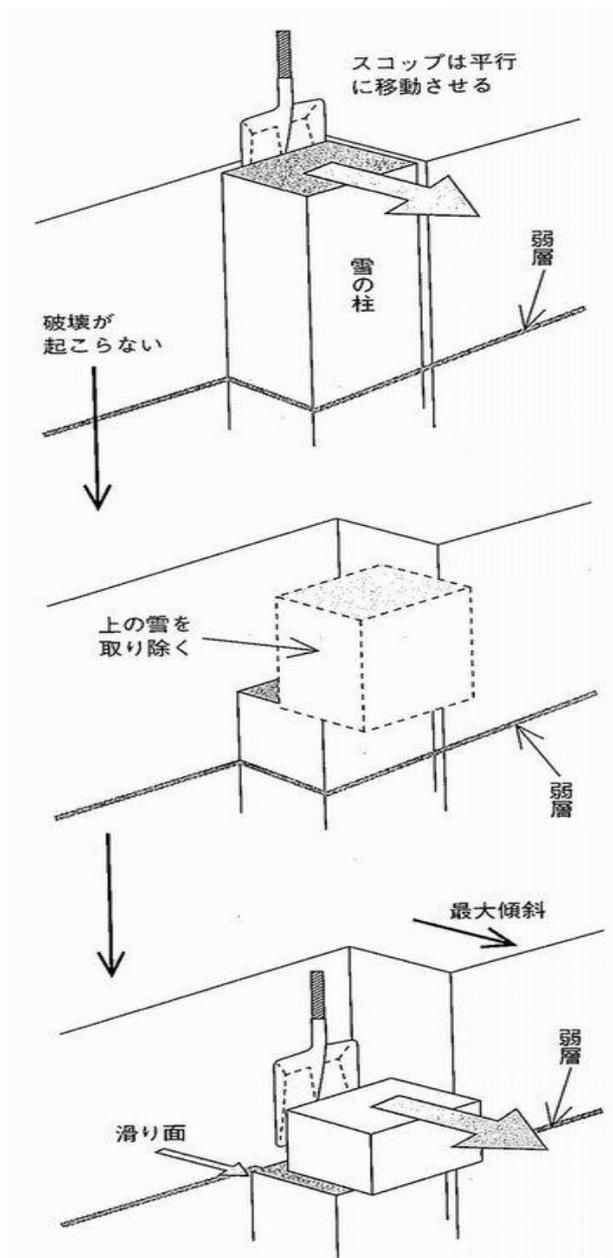
雪崩に埋没した遭難者の生存率は救出時間15分以内で93%、45分以内で26%との報告(\*)がある。

\* Brugger H. und Falk M., 1992, OEAV-Mitteilungen6/92, Innsbruck

15分間のゴールデンタイムに埋没者を確実に見つけるには、指示を与えるリーダー、ビーコン捜索をする者、遭難者を掘り出す者、応急処置を行う者などパーティーの人数に応じて作業を分担しなければならない。また、救出活動では遭難者の姿が見えなくなった地点(消失点)と雪崩の終末点の確認が捜索範囲を決める上で重要だ。雪上に散乱した衣服やピッケルなどの装備の発見は、埋没場所の特定に極めて重要である。講習では、ビーコン捜索(受信ビーコン、デジタル、OLTOBOX)する者に分からないように雪の中に埋めた別のビーコン(発信ビーコン、デジタル、PIEPS DSP)を埋没者に見立てて捜索を行った。ビーコンを扱ったこ

とのない3名の受講生が、リーダー、ビーコン搜索担当、埋没者掘り出し担当を分担し、順次交代しビーコンも入れ替えて6回搜索を試行した。その結果、いずれの場合も2分30秒以内に埋めたビーコンの位置を特定することが出来た。天候、日照条件、地形、埋没の深さなど、実際には搜索を妨げる因子が多数存在するので、短時間での救出は容易ではないが、いざという場合に備えて手順を知っていることは重要だ。また、今回の講習で、ヒトコ親機が雪崩ビーコンとして埋没者の搜索に使用できる可能性が見いだされた。ヒトコ子機の普及が進んでおり、親機の価格はビーコンの半値以下なので、その実用性が実証できれば雪山登山での利用が期待される。本講習を踏まえ今後は次の4点について検討を進めていきたい。

1. ビーコン搜索の訓練方法の確立(ビーコン1台の場合、複数台の場合)
2. 雪崩遭難のシナリオを設定し、これに基づいたセルフレスキュー・マニュアルの作成
3. 雪崩埋没者搜索でのヒトコ親機の有用性
4. 心肺蘇生とレスキューデスのジレンマへ解決



シャベルずりテストの手順

(決定版雪崩学, 北海道雪崩事故防止研究会編, 2003. 山と溪谷社)



ビーコン搜索中

<報告>

## はじめてのアイスクライミング講習

講習日 2022.2.23 講習者：川口辛二（滋賀山友会）

場所：山梨県三ツ峠 金ヶ窪沢

何となく自分に合うんじゃないかと昨シーズンより思い、アイスクライミング用のアイスアックス、縦爪アイゼン（デュアルポイント）を準備していました。昨年は仕事が忙しく結局行けませんでした、今シーズンは都合が付き参加してきました。

場所は当初八ヶ岳でしたが、今シーズンは雪が多くてゲレンデまでアプローチできるか分からないと言う事で山梨県の三ツ峠金ヶ窪沢と言う所で実施されました。



真剣に聞き入る講習生

関西人からするとアイスクライミングの講習会かクライミングをしない限り三ツ峠に行く事は無いのではないのでしょうか？私も今回の講習で知りました。関東ではクライミングで有名な山の様ですメンバーは総勢7名そこに、講師1名サポート2名で駐車場からゲレンデを目指しました。車で登山口まで向かう途中から方々で凍り付いていました、やはり土地柄なのでしょう、

関西ではこんな凍り方はしないように感じます。そのおかげでアイスクライミングのゲレンデが出来るのでしょうか。今回は皆さん初めてという事で集まりました。

若い方は大学生から、年寄りは何歳位まで。山の経験も登山を始めて2年くらいの人からクライミングをバリバリされている方まで多種多様なメンバーです。

はじめての方対象なので、アックスの打ち込み方、アイゼンの蹴りこみ方、基本ムーブと順を追って教えて頂きました。最初は高い所に上がらず低い所で横移動しながら練習です。当然ですが難しくて端から端まで行く事が出来ず落ちてしまいます。アックスの打ち込みが甘く外れる、けりこみの角度が悪く外れる、ムーブもスムーズに出来ません。ある程度練習した後に、トップロープに切り替え何本も何本も登りました。回を重ねると体も動くようになり、



講習が終わる頃には形に



、実際基本ムーブした方が、打ち込み、蹴りこみ、立ち上がりが楽に出来ます。講習が終わる頃には、皆さん基本ムーブ出来るようになっていたと思います。

シーズンも終わりに近づいていますが、練習して次はリードに挑戦し、次世代にも教えられるようになればと思います。

(県連の講習会補助を活用して参加された報告です)

## ぐうたら会長のつぶやき

滋賀県勤労者山岳連盟会長 友永芳和

コロナ感染が広がる中、無事に総会を終えて一安心です。今年度は会員拡大を目指すと言う理事長のもと、それぞれの会の会員の皆さまのお力をお借りしながら、多くの新しい会員の方を迎え入れる事が出来ればと思っています。それと同時に退会者を出さないという事もたいへん大切な事だと思っています。会員の誰もが居続けたいと思う魅力ある山の会であり続けられるように頑張らしましょう。

コロナ下で山歩きを始める方も増えていると同時に、初心者の方の道迷いや下山遅れなど山の事故も増え続けています。そんな方に山の会に入っただき、基本的な山の知識や技術、山への取り組み方を伝えるのも大切な山の会の役目だとも思います。また、会に入らなくても知識や技術などのノウハウを一般の登山愛好者の方に広める事も大事な事だと思っています。そんな活動も地道に続けて行くようにしたいと思います。皆様のより一層のご協力をお願いします。

先日古い雑誌を処分しようとして、パラパラとページをめくっていたら、こんな文章を見つけました。

### 「二つの生き方」

私は、人生を全うする方法は、二つあると思う。一つは、自然の流れに身を任せる方法である。「おぎゃー」と産声をあげたのが、自然の成り行きであったならば、老衰して土に返るのも、自然の趣くまでである、という考え方である。無から生じて無に帰る、というのがこれであろう。

日本の秋は美しい。山に入って、赤や黄の燃えるような色彩を、網膜に映し出した時、心に浮かぶのは、一抹の寂しさを含んだ、自然美への陶醉感であろうか。

新芽の初々しさが、やがて、灼熱の夏へと向かって、情熱をたぎらせながら山々を緑一色に包んだのが、生命に対する執着の発露であれば、この世の名残りとはばかり、全身にまとった木の葉を鮮烈に染めながら、風に身を震わせて、パラパラと落葉していく光景には、天寿を全うして散り行く美しさがある。

さてもう一つは、意志が生に区切りをつける方法である。精一杯、無我夢中で生きて来た者が、人生の途中で、内在するエネルギーが枯れ果てるか、あるいは、自己を完全燃焼させる道が皆無になったのを見た時、己れの意志によって、生命(必ずしも肉体的生命ばかりではない)を断ち切る方法がこれである。冷めたコーヒーなら飲みたくない、という人もいるのである。この種の人生を歩む人に対して、過激であるとか、無謀であるとか言わずすることは、何人もできまい。これらの人々を愚者呼ばわりする人に、人生の本当の喜び、悲しみは解からない。何故なら、そういう人達は、いつもぬるま湯と感傷に浸って生きているのだから。

体中の血をみなぎらせ、咲き誇ったと見るや、ポトリと地面に落下する牡丹を見て、おろかなと感ずる人はいないのである。青春のエネルギーを傾注する人達の人生とは、いかなるものであろうか。それこそ、私が一生涯をかけて解明したいと願う問題の一つである。

皆さんは、どんな人生を歩みたいと思いますか、または、どんな人生を歩んでこられましたか？私は中途半端にどちらともつかない人生を歩んで来たように思います。若い一時期は確かに内在するエネルギーを山登りに注ぎ込んだこともあります。だが、そのエネルギーが枯れ果てるまではやれませんでした。中途半端に残ったエネルギーをただパラパラと落としながら生きています。いつまで生きるのかは判りませんが……。

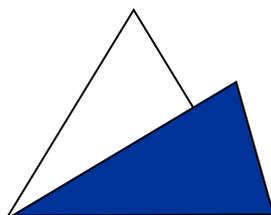
### 4-6月 行事予定表

tuki	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
	5	第2回理事会(ZOOM併用)		2	沖島山花見山行	彷徨
	6	初級(オリエンテーション)		2	堅田一本桜～仰木	雪稜
	8-10	雪山基礎講座(5)(CSS)		3	第51回定期総会	山友
		北アルプス・大遠見山雪洞講習		3	京～近江のお花見	岳友
	12	座学・入門登山教室		3	お花見(桜)	ちご
	13	初級座学。クライミング入門		9-10	越前大日山～加賀大日山	彷徨
	16	初級実技(読図)比良・滝山		10	大文字山	雪稜
4				17	大御影山～三重獄岳	岳友
				17	比良・比叡トレイル	彷徨
	23	初級実技(クライミング体験)金毘羅		17	ハイキング部例会	山友
				17	油日岳～鈴鹿峠	雪稜
				24	湖東三山	ちご
				24	高雄～苔寺谷	雪稜
				29	東ヶ谷山	雪稜
	29-2	月山山スキー(スキーネット)				
	1-4	雪山基礎講座(6)(CSS)		3	猪ノ鼻ガ岳	雪稜
		北アルプス・鹿島槍ヶ岳		8	迷岳/台高	岳友
	11	初級座学(テント泊・読図)		8	比良・シャクナゲ尾根	ちご
	14	初級実技(クライミング入門)北小松しし岩		15	ダイトレ 岩湧山	彷徨
	17	座学・入門登山教室		15	大谷山ノ比良	岳友
	18	第3回理事会(ZOOM併用)		15	ハイキング部例会	山友
5	21-22	初級実技(テント泊・縦走)比良山		15	鈴鹿峠～安楽越	雪稜
				28-29	那須三山	雪稜
				28	清掃登山「日本コバ」	山友
				29	清掃登山「近江湖南アルプス金勝山」	山友
	29	清掃登山		29	清掃登山「ノタノホリ・天神山」	ちご
				29	清掃登山「雪野山」	彷徨
				29	清掃登山「高室山」	岳友
				29	清掃登山「寒風山」	シャク
				4	清掃登山「伊吹山」	山友
	8	初級座学(レスキュー入門)		5	清掃登山「南比良2コース」	雪稜
	14	座学・入門登山教室		5	鈴鹿「高室山」	ちご
	15	第4回理事会(メール)		14	福井・ホノケ山	彷徨
6				19	ハイキング部例会	山友
				19	安楽越～仙ヶ岳	雪稜
	25	初級実技(レスキュー入門)				

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット;山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀 初級:初級登山教室



2022年5月号の原稿は、4月15日〆切です。  
原稿の投稿先は 藤野 kawahaakebono@gmail.com  
宮内 m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp  
用紙サイズは A4、フォントは本文 11~12、タイトル 14~16、  
余白は上下左右 19mmとし、  
使用する写真は 200KB 以内としてください。  
ワード版と PDF 版をお送り下さい。皆様のご協力をお願いいたします。

『県連ニュース2022年4月 NO.537号』

発行日：2022年3月22日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0047

Email shigarosan@gmail.com

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F

ゆうちょ銀行(店名418)

大津市市民活動センタースモールオフィス内

普通 0239956

メールボックス NO13

<http://shigarousan.jimdo.com/>

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 藤野 健太郎